

# 愛媛学 第2回

## 地域社会のあり方及び 地域づくりの担い手づくり



# 今回の内容・方法

1. 前回のふりかえり、今回の到達目標
2. 地域社会のあり方及び地域づくりの担い手づくり
  - 「これからの地域社会のありかた」  
: ビデオ視聴、個人ワーク、ペアワーク、共有
  - 「合意形成の手法と担い手づくり」  
: ビデオ視聴、個人ワーク、ペアワーク、共有
3. 今回のまとめ、到達目標達成の確認



# 前回のふりかえり

1. ガイダンス(愛媛県, 愛媛学, 愛媛大学)
2. ミニ演習(2回以降の授業内容の確認)
  - 「地域の状況や課題を理解する力」
  - 「地域を活性化する方策」について考える  
: 個人ワーク、グループワーク
3. 「愛媛大学」紹介



# ワークシートの記述から：地域課題等

- 人口減少
- 少子高齢化
- 若者の流出（祭りの人不足、卒後定着しない）
- 働く場がない、地域産業に従事する若者不足
- 地域のつながりの希薄化
- シャッター街、空き家、空き施設問題
- 遊ぶところがない、スーパー、コンビニが少ない
- 病院、デイサービスの不足
- 交通手段の不足
- ゴミ捨て、分別
- 水不足
- 観光客のマナー



# ワークシートの記述から:活性化方法等

- ゆるキャラの活用、ご当地アイドルの結成
- 自治会・子ども会行事の増加
- 子育て支援の充実
- 公園、遊び場の設置
- 定期的なイベント開催(食べ物など)
- 花火大会、マラソン大会等イベントの開催
- 道の駅の充実
- 地域の特産品アピール、ブランドづくり
- ボランティアの活用
- 観光アピール、インバウンドへの方策
- 企業誘致
- Iターン、Uターンの推進



# ワークシートの記述から：感想等

- 愛媛県には色々な産業があり、日本の縮図的な特徴を持っているということを知りました。
- 地域の活性化に関わる取り組みを書き出してみると、様々な取り組みを行っていることが改めてわかりました。自分の住んでいる地域と他の地域を比べて良い部分を発見できてよかったです。
- グループで話し合う時でも相違点に驚いたり、共通点を見つけたりしたが、他のグループではまた全く違う意見が出てきて興味深かった。色々な共通点、相違点を持った人がたくさんいるのって面白いなと思いました。
- 愛媛大学も様々な研究に挑戦していることを知った。地域社会にも貢献していることに驚いた。



# 今回の到達目標

1. これからの地域社会のあり方について説明できる
2. 合意形成ための会議の手法について説明できる
3. 地域づくりの担い手づくりの方策について説明できる



# これからの地域社会のありかた

講師：社会連携推進機構 前田眞先生

- ビデオ視聴
- 個人ワーク 5分
  - ワークシートのノート1①②の箇所を、ノート①：「このような地域社会のあり方についてどう思いますか？」に変更して記述してください
- ペアワーク 10分
  - 共通の意見は青、自分独自の意見は赤で囲む
- 共有





# 合意形成の手法と担い手づくり

講師：社会連携推進機構 前田眞先生

- ビデオ視聴
- 個人ワーク 5分
  - ワークシートのノート2の箇所を、ノート②：「こうした共創的な会議の手法についてどう思いますか？」また「身の回りで、この手法を使うとしたどんな場面が考えられますか？」に変更して記述してください
- ペアワーク 10分
  - 共通の意見は青、自分独自の意見は赤で囲む
- 共有



# 今回のまとめ

- 地域社会のあり方及び地域づくりの担い手づくり
  - 「これからの地域社会のありかた」  
: ビデオ視聴、個人ワーク、ペアワーク、共有
  - 「合意形成の手法と担い手づくり」  
: ビデオ視聴、個人ワーク、ペアワーク、共有



# 到達目標達成の確認

1. これからの地域社会のあり方について説明できる
  - 新しい公共を作っていくための、ボトムアップでの住民自治が必要
2. 合意形成ための会議の手法について説明できる
  - ブレインストーミング、KJ法、ファシリテーショングラフィック
3. 地域づくりの担い手づくりの方策について説明できる
  - 共創的な会議を継続することで共感と共有が生まれ、地域課題解決の担い手づくりにつながる

